

## 平成28年度施設の運営状況

### 1 施設名

富山県立図書館

### 2 施設所在地

富山市茶屋町206-3

### 3 施設設置年度

昭和15年度

### 4 設置目的

県民の文化と教育の発展を図る。

### 5 施設概要

#### 1 敷地面積

9,802.36㎡（別に第二駐車場用地1,411.64㎡）

#### 2 建物面積等

①本館（鉄筋コンクリート2階地下1階建て：閲覧室、国際プラザ等）

3,713.74㎡

②別館（鉄筋コンクリート3階建て：情報プラザ、多目的ホール等）

1,809.75㎡

③資料センター（鉄筋コンクリート3階建て：書庫）

2,252.06㎡

#### 3 保管資料

942,461点（うち、視聴覚資料 16,258点）

### 6 利用状況

#### (1)利用者数（人）

H24	H25	H26	H27	H28
186,846	177,629	171,819	182,306	166,014

#### (2)貸出冊数

H24	H25	H26	H27	H28
200,036	190,327	186,565	202,326	181,445

#### (3)調査相談件数

H24	H25	H26	H27	H28
19,378	20,068	20,922	20,361	19,535

## 7 評価項目

### (1) 利用者数の増減に対する評価

平成28年度の利用者数は対前年度比△8.9%、貸出冊数も対前年度比△10.3%で、いずれも減少している。また、調査相談件数も対前年度△4.1%で減少している。

### (2) サービス向上に向けた取組み

#### ① 図書館システムの更新

前システムの稼働(平成21年12月)以降、業務量の増加や分類法の改訂に伴う対応等の必要から、システムの部分改修を行い、併せて機器の更新を行った。

#### ② 県内相互貸借システムの改修

県立図書館が県内図書館の申込を仲介する集中管理方式から、各館が直接所蔵館へ申込をする個別対応方式へシステムを改修し、業務の効率化を図った。

#### ③ 企画展示「災害の記憶と防災」などの開催

北陸4県の各県立図書館が所蔵する災害や防災に関する郷土資料などをはじめとする企画展示を実施した。貴重書「地水見聞録」をはじめ関連資料約200冊を展示した。

#### ④ アクションプランの実施

策定したアクションプランを実施し、次年度への取組みを含めた検証結果を評価として公表した。

#### ⑤ 障害者サービスの向上

車椅子を利用者の目にとまる閲覧室入口付近に移動した。障害者サービスの向上に、読書補助具のリーディングトラックを閲覧室及び新聞・雑誌閲覧室に設置した。

### (3) 利用促進に向けた取組み

#### ① スポンサー雑誌の拡充

平成26年度に導入した雑誌スポンサー制度の周知に努め、スポンサー雑誌の拡充を図った。[33社から38誌提供]

#### ② 「富山県立図書館Twitter」の運用開始

富山県立図書館でご利用になれるサービス、イベント・企画展示の案内などの情報を発信するため、平成28年7月より、「富山県立図書館Twitter」の運用を開始した。

#### ③ 富山福祉短期大学図書館との連携

富山福祉短期大学図書館との相互貸借協定を、平成29年3月に締結した。

#### ④ 遠隔地利用者返却制度の拡充

新たに射水市図書館(中央、新湊、正力、下村)及び舟橋村立図書館で返却できるようになり、県立図書館で借りた本を富山市を除く県内市町村の対象図書館で返却できることとなった。

#### ⑤ 新刊児童書の別置

ニーズの高い児童書の新刊を児童書室入口に別置して、利用者にわかりやすくした。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

閲覧室カウンター等において、図書購入に関する要望をはじめ、各種の要望や苦情等を受け、適切に対応を行った。

① リクエストによる図書購入 753冊

② ご意見箱の意見への回答 46件

(5) 個人情報保護の取組み

富山県個人情報保護条例に基づき、適切に対応を行った。

〈具体的な取組み〉

- ①利用者の借りた図書情報を外部に漏らさない。
- ②各種伝票等には利用者の氏名と借りた資料名を同時に印字しない。
- ③返却と同時に貸出履歴を消去するシステムとしている。
- ④各種申込書の情報をその目的以外に利用しない。

(6) 関係団体との連携

富山県図書館協会、富山県郷土史会等と連携し、研修会や講演会等を開催した。(開催延べ回数:11回)

(7) 施設・設備の維持管理、充実

- ①電力使用量の監視により、夏場の日中等における最大電力使用量の抑制(ピークカット)を行い、電気料金の節約を図った。
- ②経年劣化により故障した空調設備等の修繕を適切に行い、閲覧室の照明設備のLED化を図るなど、安全性や快適性の維持に努めた。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ①緊急連絡体制や危機管理マニュアルの周知を図った。
- ②消防訓練を実施した。

8 今後の課題等

新たな利用者を掘り起こすなどにより、来館者や貸出冊数等の増加を図る。